



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 長瀬産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 8012 URL <https://www.nagase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 研二

問合せ先責任者 (役職名) 経理部本部長 (氏名) 高見 輝

TEL 03- 3665- 3103

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	187,136	7.9	5,604	59.0	6,370	63.2	3,482	55.7
29年3月期第1四半期	173,394	6.3	3,525	28.9	3,904	26.7	2,236	34.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 7,758百万円 (%) 29年3月期第1四半期 5,342百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	27.62	
29年3月期第1四半期	17.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	540,690	300,450	54.7	2,343.85
29年3月期	530,775	295,198	54.7	2,301.10

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 295,607百万円 29年3月期 290,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		16.00		17.00	33.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		17.00		18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	732,000	1.3	19,100	27.1	20,900	27.7	12,500	21.0	99.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) INKRON LIMITED 、 除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	127,408,285 株	29年3月期	127,408,285 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	1,287,672 株	29年3月期	1,287,366 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	126,120,721 株	29年3月期1Q	127,030,962 株
----------	---------------	----------	---------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
3. 補足情報	9
(1) 海外売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績全般の概況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景として、景気は緩やかな回復基調を維持しました。また世界経済においても、全体として緩やかな成長を維持したものの、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化、米国や欧州の政治・経済政策の動向といった不安要素もあり、先行きは不透明な状態にあります。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間の業績は、国内販売は949億4千万円（前年同期比+6.8%）、海外販売は921億8千万円（同+9.1%）となり、売上高は1,871億3千万円（同+7.9%）となりました。

利益面につきましては、増収に伴い、売上総利益は240億7千万円（同+6.7%）となりました。営業利益は、数理計算上の差異の償却に伴う退職給付費用が減少したこと等により56億円（同+59.0%）となりました。また、経常利益は持分法投資損益の改善等により63億7千万円（同+63.2%）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億8千万円（同+55.7%）となりました。

② セグメント別の概況

機能素材

機能素材につきましては、国内および海外ともに売上は増加しました。

機能化学品事業は、国内外における自動車生産台数が堅調に推移したことから、塗料原料およびウレタン原料等の売上が増加し、事業全体として売上は増加しました。

スペシャリティケミカル事業は、半導体関連等の電子業界向けを中心としてフッ素ケミカル、エレクトロニクスケミカル、樹脂原料・添加剤の売上が増加し、海外では樹脂添加剤等の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は403億2千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、32億3千万円（+8.7%）の増収となりました。営業利益は11億7千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、3億1千万円（+35.8%）の増益となりました。

加工材料

加工材料につきましては、国内および海外ともに売上は増加しました。

カラー&プロセッシング事業は、工業用および包装材料用の合成樹脂、顔料・添加剤や情報印刷関連材料等の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

OA・ゲーム機器業界への合成樹脂の販売を中心とするポリマーグローバルアカウント事業は、国内、グレートチャイナおよびアセアンにおいて売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は645億9千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、59億円（+10.1%）の増収となりました。営業利益は16億6千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、4億5千万円（+38.2%）の増益となりました。

電子

電子につきましては、国内および海外ともに売上は微増となりました。

電子化学品事業は、フトリソ材料の売上が増加し、重電・半導体業界向け等の変性エポキシ樹脂関連の売上も堅調に推移したことから、事業全体として売上は増加しました。

電子資材事業は、ディスプレイ関連部材の販売は増加したものの、スマートフォン筐体用部材の売上が減少したことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は305億3千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、6億5千万円（+2.2%）の増収となりました。営業利益は17億2千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、2億4千万円（+16.5%）の増益となりました。

自動車・エネルギー

自動車材料事業は、国内での樹脂ビジネスが順調に推移したことに加え、カーエレクトロニクス関連商材の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は307億3千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、45億1千万円（+17.2%）の増収となりました。営業利益は6億7千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、4億円（+150.0%）の増益となりました。

生活関連

生活関連につきましては、欧州での売上は増加したものの、国内での売上が減少したことから、全体として売上は微減となりました。

ライフ&ヘルスケア製品事業は、食品素材分野において、トレハ[®]等の売上は国内、海外ともに横ばいとなりました。スキンケア・トイレタリー分野において、AA2G[®]の国内での主要顧客に対する売上は増加したものの、海外での主要顧客に対する売上は減少しました。医療・医薬分野では、原料・中間体および医療材料の売上が減少しました。この結果、事業全体として売上は微減となりました。

化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア製品事業は、従来商品の販売が低調であったことから、事業全体として売上は微減となりました。

この結果、売上高は207億9千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、5億3千万円（△2.5%）の減収となりました。営業利益は12億1千万円と前第1四半期連結累計期間に比べ、3千万円（△2.8%）の減益となりました。

その他

特記すべき事項はありません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、売掛金やたな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ、54億2千万円増加の3,266億4千万円となりました。固定資産は、保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ、44億8千万円増加の2,140億4千万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ、99億1千万円増加の5,406億9千万円となりました。

負債は、社債の償還による減少があったものの、長期借入金の増加やコマーシャル・ペーパーの発行等により、前連結会計年度末に比べ、46億6千万円増加の2,402億4千万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益34億8千万円を計上したほか、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ、52億5千万円増加の3,004億5千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同様の54.7%となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

平成29年5月2日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,830	38,095
受取手形及び売掛金	206,846	210,487
商品及び製品	58,162	61,663
仕掛品	1,309	1,283
原材料及び貯蔵品	3,648	3,820
繰延税金資産	2,375	2,163
その他	9,681	9,764
貸倒引当金	△638	△633
流動資産合計	321,215	326,644
固定資産		
有形固定資産	67,619	67,438
無形固定資産		
のれん	23,034	23,501
技術資産	13,791	13,397
その他	3,916	3,668
無形固定資産合計	40,742	40,567
投資その他の資産		
投資有価証券	94,548	99,628
長期貸付金	482	457
繰延税金資産	1,524	1,401
その他	4,931	4,841
貸倒引当金	△289	△289
投資その他の資産合計	101,197	106,039
固定資産合計	209,559	214,045
資産合計	530,775	540,690

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	102,076	103,269
短期借入金	28,162	28,866
1年内返済予定の長期借入金	3,522	3,270
コマーシャル・ペーパー	-	5,000
1年内償還予定の社債	10,000	-
未払法人税等	1,849	1,440
繰延税金負債	37	38
賞与引当金	4,512	2,291
役員賞与引当金	171	59
その他	16,161	17,928
流動負債合計	166,494	162,164
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	20,078	26,793
繰延税金負債	13,503	15,728
退職給付に係る負債	14,625	14,709
その他	874	843
固定負債合計	69,082	78,075
負債合計	235,576	240,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	11,590	11,353
利益剰余金	219,721	221,052
自己株式	△1,337	△1,338
株主資本合計	239,674	240,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,683	51,434
繰延ヘッジ損益	4	3
為替換算調整勘定	3,129	3,621
退職給付に係る調整累計額	△274	△219
その他の包括利益累計額合計	50,542	54,839
非支配株主持分	4,981	4,842
純資産合計	295,198	300,450
負債純資産合計	530,775	540,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	173,394	187,136
売上原価	150,829	163,064
売上総利益	22,564	24,072
販売費及び一般管理費	19,039	18,467
営業利益	3,525	5,604
営業外収益		
受取利息	51	43
受取配当金	729	684
受取賃貸料	78	68
持分法による投資利益	-	204
為替差益	-	16
その他	129	83
営業外収益合計	988	1,100
営業外費用		
支払利息	228	236
持分法による投資損失	85	-
為替差損	192	-
その他	102	97
営業外費用合計	609	334
経常利益	3,904	6,370
特別利益		
固定資産売却益	15	0
投資有価証券売却益	60	-
特別利益合計	75	0
特別損失		
固定資産売却損	10	19
固定資産廃棄損	49	13
減損損失	10	225
投資有価証券売却損	24	-
投資有価証券評価損	151	-
関係会社株式売却損	257	-
事業撤退損	-	230
段階取得に係る差損	-	294
その他	57	-
特別損失合計	560	782
税金等調整前四半期純利益	3,418	5,588
法人税、住民税及び事業税	690	1,170
法人税等調整額	450	935
法人税等合計	1,141	2,106
四半期純利益	2,277	3,482
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	41	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,236	3,482

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	2,277	3,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,301	3,747
繰延ヘッジ損益	26	△1
為替換算調整勘定	△5,448	493
退職給付に係る調整額	537	54
持分法適用会社に対する持分相当額	△435	△18
その他の包括利益合計	△7,620	4,276
四半期包括利益	△5,342	7,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,843	7,718
非支配株主に係る四半期包括利益	△499	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子	自動車・ エネルギー	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	37,090	58,691	29,887	26,226	21,328	173,224	169	173,394	-	-	173,394
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	433	590	411	603	130	2,170	1,446	3,616	-	△3,616	-
計	37,524	59,282	30,298	26,830	21,458	175,394	1,615	177,010	-	△3,616	173,394
セグメント利益又 は損失(△)	868	1,201	1,481	271	1,252	5,075	73	5,148	△1,759	136	3,525

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子	自動車・ エネルギー	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	40,323	64,592	30,539	30,739	20,793	186,989	146	187,136	-	-	187,136
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	600	569	522	671	122	2,486	1,087	3,573	-	△3,573	-
計	40,924	65,161	31,062	31,411	20,916	189,476	1,234	190,710	-	△3,573	187,136
セグメント利益又 は損失(△)	1,178	1,660	1,726	679	1,217	6,462	61	6,524	△1,018	98	5,604

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、INKRON LIMITED（特定子会社）の株式を取得したことに伴い、同社の子会社であるInkron OyおよびInkron Technologies GmbHを含む計3社を連結の範囲に含めております。

3. 補足情報

(1) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

	グレーター チャイナ	アセアン	米州	欧州	その他	計
I 海外売上高（百万円）	46,188	24,781	7,037	2,928	3,548	84,484
II 連結売上高（百万円）						173,394
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	26.6	14.3	4.1	1.7	2.0	48.7

当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

	グレーター チャイナ	アセアン	米州	欧州	その他	計
I 海外売上高（百万円）	50,254	26,128	7,685	3,474	4,643	92,186
II 連結売上高（百万円）						187,136
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	26.8	14.0	4.1	1.9	2.5	49.3

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
2. 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
3. 各区分に属する主な国または地域
(1) グレーターチャイナ・・・中国、香港、台湾
(2) アセアン・・・・・・・・タイ、シンガポール
(3) 米州・・・・・・・・米国、メキシコ
(4) 欧州・・・・・・・・ドイツ
(5) その他・・・・・・・・韓国